

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点⑥4〉

三郷学の実践

49. 地域の「環境」と「食」を守る ～三郷市くらしの会の活動から～

三郷市くらしの会は、昭和43年4月に三郷市婦人会の一部門として発足しました。昭和47年には、「婦人会」から「くらしの会」として独立し、現在92名の会員が、主に「環境」と「食」に関するテーマで活動しています。

環境部門の「エコライフ推進委員会」では、牛乳パックを利用した花づくりの講習会を開き、これがきっかけでその作り方の本を出版しています。また、埼玉県主催の地球温暖化防止活動推進員として活動するなど、環境問題について幅広く取り組んでいます。



食部門の「食生活推進委員会」では、地場農産物の使用を推進した、身体にやさしい食生活を推進しています。最近では、高齢者でも簡単に作れるバランスを考えた料理の研究に取り組んでいます。

くらしの会の最大のイベントは「消費生活展」です。昭和47年に開催された第1回「消費生活展」(当時は産業物産展)から今日まで、継続して同実行委員会、三郷市とともに主催者となっています。

三郷の環境や食文化は、大切に守り、後世に永く残していきたい地域の財産です。